

血液

Hematology

ユニット責任者：内科学（血液・腫瘍内科） 教授 新井文子

ブロック名		期間	ブロック責任者
第1ブロック	血液①	5月28日～5月31日	富田直人
第2ブロック	血液②	9月10日～9月13日	富田直人

1. ユニット概要・学習内容

血液・造血器およびリンパ系の構造と機能を理解し、血液異常による症状と検査所見を分析・解釈する。さらに、各種血液疾患を的確に診断し治療するために必要な知識と技能を身につける。

2. 到達目標

- 1) 血液・造血器およびリンパ系の構造と機能を述べることができる。
- 2) 血液の一般性状および血漿タンパクの種類と機能を説明できる。
- 3) 血液一般検査の意義を説明できる。
- 4) 鉄・造血ビタミンの代謝と造血とを関係づけることができる。
- 5) 出血・凝固系検査、骨髄検査および血液型・輸血関連検査を説明できる。
- 6) 造血幹細胞から各血球への分化と成熟の過程を述べることができる。
- 7) 末梢血および骨髄細胞の形態を記載できる。
- 8) 赤血球、白血球、血小板および免疫グロブリンの異常について説明できる。
- 9) 血液疾患の治療法を病期や予後に応じて説明できる。

3. 学習上の注意点

授業前に教科書を読んで不明な点を明確にし、授業後に再読し解決していることを確認すること。

4. 教科書・参考書

教科書：

1. 『内科学』 矢崎義雄 朝倉書店 2017年
(書評) 近年の研究の進展を含めて理解を深められる教科書
2. 『内科学』 門脇孝・永井良三 西村書店 2012年

(書評) 医学生・研修医のためのビジュアル的に優れた教科書

3. 『内科学書』小川 聡 中山書店 2013年

(書評) 完成度の高いスタンダードな教科書

参考書

① 『三輪血液病学』浅野茂隆 文光堂 2006年

(書評) 本邦の最もスタンダードな血液学の教科書

② 『Wintrobe's Clinical Hematology, 13th edition』 John P Greer 著

Lippincott Williams & Wilkins 2014年

(書評) 血液学の臨床と基礎の間のギャップを埋める伝統の書

5. 成績評価

評価項目	実施回数	評価割合	備考
定期試験	2	100 (%)	前期・後期試験期間中に実施する。
授業態度			出欠により加味する。

6. オフィスアワー

所属	役職	氏名	時間	場所	連絡先
内科学 (血液・腫瘍内科)	教授	新井 文子	月曜日 16時～17時	医学部本館3階 血液・腫瘍内科教授室	3372 (内線)
内科学 (血液・腫瘍内科)	准教授	富田 直人	金曜日 16時～17時	医学部本館3階 血液・腫瘍内科医局	3307 (内線)